

露地・雨よけ

サクランボ特報 No.3

平成30年4月20日

J A中野市営農センター

J A中野市サクランボ部会

生育は、昨年よりも7日程度進んでいる状況です。

定期防除・管理作業は、遅れないよう計画的に実施しましょう。また、乾燥状態が続く場合は、灌水を適宜実施しましょう。

薬剤散布

隣接する園地や他作物にかからないようにする。

* 散布時期 落花直後（4月下旬）

* 散布薬剤 (水 100ℓ 当り)

展着剤

20ml

サムコフロアブル 10

40ml

(前日、3回)

ナリア WDG

50g

(前日、3回)

・ 散布日 4月 日

・ 散布量 ℓ

* 散布量 : 10a当り 400ℓ 動噴500ℓ

* 対象病虫害 : ケムシ類、ハマキムシ類、灰星病、黒斑病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病

* 注意事項 : ◎訪花昆虫保護のため、殺虫剤の使用は十分注意する。

①樹勢が弱い場合は、「ビビッドグリーン」の500倍を加用散布する

②訪花昆虫引き上げ後一ショウジョウバエ類（ケムシ類、ハマキムシ類）が発生する場合、
劇バيسロイドEWの4000倍（収穫7日前、2回）を特別散布する。

劇・・・劇物をご購入の際は、印鑑をご持参ください

③ナリアWDGは、ぶどう、ピオーネ、西洋ナシ、ル・レクチェ等に薬害が生じる恐れがあるため、他作物同様、飛散しないようにする。

④コスカシバの発生園は、4月下旬～5月上旬にスカシバコンを10a当100本設置する。

◎花器異常が散見されています

(1) 開花の早い品種、地上2mまでの高さを中心に、花器異常(貧弱花、めしべ欠落)が散見されています。

(2) 開花中の園地では、健全な花を中心に人工授粉を行ない結実確保に努めましょう。

(3) 枝によって着果量が不足する場合は、樹全体で着果量を確保しましょう。(可能な範囲で)

○除草剤の散布

(放花昆虫保護のため5月中旬頃まで見合わせる、訪花昆虫回収後)

・ 使用剤 ・バスタ液剤・ザクサ液剤（収穫前日、3回）

・ 使用方法 水100～150ℓに500～750mlを使用する。